

カンヴァスに留められた、永遠の青春。



《神の祈り》1918(大正7)年頃 福島県立美術館蔵

生誕120年・没後100年
関根正二展

2019
11月23日「土祝」— 2020
1月19日「日」

開催時間：午前9時30分—午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日：毎週月曜日（1月13日は開館）
2019年12月29日（日）—2020年1月3日（金）、1月14日（火）
主催：三重県立美術館、中日新聞社
助成：公益財団法人岡田文化財団、公益財団法人三重県立美術館協賛会、
芸術文化振興基金

観覧料：

一般 900(700)円
学生 700(500)円
高校生以下無料

- *（ ）内は前売および20名以上の団体割引料金
- *この料金で、「美術館のコレクション」、「柳原義達の芸術」もご覧いただけます。
- *生徒・学生の方は生徒手帳・学生証等をご提示ください。
- *障害者手帳等をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。
- *県内学校（小・中・高・特支）等が来館する場合、引率者も観覧無料（要申請）。
- *毎月第3日曜の「家庭の日」（12月15日、1月19日）は団体割引料金でご覧いただけます。
- *主な前売券販売所：チケットぴあ、ファミリーマート、セブンイレブン他

三重県立美術館
MIE PREFECTURAL ART MUSEUM

SEKINE Shōji: A Retrospective



1



2

—大正時代の青年画家、過去最大の回顧展。—

今から100年前の1919(大正8)年、わずか20歳と2か月で生涯を閉じた、ひとりの青年画家がいました。その名は、関根正二(せきねしょうじ、1899-1919)。現在の福島県白河市に生まれ、幼少期に東京・深川へと移り住んだ関根は、周囲の人たちからの影響を受け、やがて画家を志します。16歳で洋画家としてデビューし、1918(大正7)年の第5回二科展で新人賞にあたる梶牛賞を《信仰の悲しみ》、《姉弟》、《自画像》の3作品により受賞した関根は、「関根のヴァーミリオン」と賞賛された朱色、深い青緑などのあざやかな色づかいと幻想性が溶け合った作品を

次々と描きますが、病に冒され、1919年6月に急逝します。

関根の画家としての活動期間はわずか5年程であり、遺された作品も決して多くはありません。しかし、その画業は日本の近代美術館の成長とともに明らかにされ、また、2003(平成15)年には出世作《信仰の悲しみ》が国の重要文化財に指定されるなど、大正時代の個性派画家という評価がなされてきました。今回の展覧会は、近年新たに発見された作品・資料を含む、関根の作品約100点、書簡や資料約60点、関根に影響を与えた同時代の関連作家の作品や資料約50点で構成する、過去最大規模の関根正二展となります。

卓越した素描力と鮮烈な色彩に包まれた精神性豊かな作品と会場で向き合い、青春を駆け抜けた関根正二の無垢な魂の輝きに触れてみませんか。

関根正二展

生誕120年・没後100年

1. 《信仰の悲しみ》1918(大正7)年
大原美術館蔵 重要文化財
[展示期間:11/23-12/28]
2. 《自画像》1918(大正7)年
福島県立美術館蔵
3. 《死を思う日》1915(大正4)年
福島県立美術館寄託
4. 《チューリップ》1918(大正7)年
個人蔵
5. 《姉弟》1918(大正7)年
福島県立美術館蔵
6. 《三星》1919(大正8)年
東京国立近代美術館蔵
7. 表:《大樹(子供と木登り)》
裏:《裸婦》
1915(大正4)年
福島県立美術館蔵
8. 《女の顔》1918(大正7)年
神奈川県立近代美術館蔵
[展示期間:1/4-1/19]



3



4



5



6



7-表



7-裏



8

*会期中、展示替えがあります。詳細は美術館ウェブサイトをご覧ください。当館 [TEL: 059-227-2100(代表)] までお問合せください。

■関連プログラム

○講演会「放浪、失恋、そして聖地へ 関根正二の世界」

2019年11月30日(土) 午後2時-(約1時間30分)

*開場は午後1時30分

講師:村田真宏(豊田市美術館館長)

会場:美術館講堂

予約不要/聴講無料/定員150名

○公演「関根正二をめぐる言葉と歌」

関根正二の作品世界を歌と言葉とともに味わいます。関根の作品やその世界観を読み解くキーワード「信仰・愛・青春」から導かれたクラシック歌唱と、俳優が朗誦する関根の言葉のコラボレーション公演。

2019年12月10日(火) 午後3時-(約30分)

2020年1月19日(日) 午後3時-(約30分)

*開場は午後2時30分

演出:鳴海康平(第七劇場)

出演:【歌】相可佐代子(12月10日)、佐波真奈己(1月19日)

【朗誦】第七劇場俳優

会場:美術館講堂

観覧料:500円 *当日、現金を会場にてお支払いください。

予約不要/定員150名

○担当学芸員によるギャラリートーク

展示室で数点の作品を鑑賞するツアーです。

2019年12月14日(土)、2020年1月12日(日)

いずれも午後2時-(約20分)

会場:企画展示室

対象:どなたでも。展示室に入るため、関根正二展の観覧券が必要です。

○三重県立美術館友の会主催 お茶会

2019年11月26日(火)-12月1日(日) 午前10時-午後4時

会場:美術館エントランスホール

一服:400円(立礼式/茶菓子付)

■巡回情報

2020年2月1日(土)-3月22日(日)

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

■次回企画展

コレクションによる特別陳列 没後30年 諏訪直樹展

2020年2月1日(土)-4月5日(日)



■交通案内

津駅(近鉄・JR)西口より徒歩約10分。または、津駅西口1番のりばより三重交通バス「西団地循環」、「津西ハイタウン行き(むつみ・つつじ経由)」、「夢が丘団地行き(総合文化センター前経由)」、「総合文化センター行き」のいずれかに乗車約2分、「美術館前」下車徒歩約1分。駐車場もご用意していますが、できる限り公共交通機関をご利用ください(駐車場収容台数約130台)。

三重県立美術館

MIE PREFECTURAL ART MUSEUM

〒514-0007 三重県津市大谷町11

TEL: 059-227-2100 FAX: 059-223-0570

http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/

Follow us on twitter @mie_kenbi

